

行きたい!働きたい!
住んでみたい!

錦二丁目地区

ライフまちづくり

環境共生で高付加価値をしなやかにめざす都心モデル地区

Community Life Development

桶屋町通

島田町通

長者町通

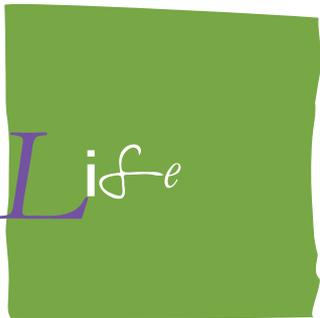
本町通



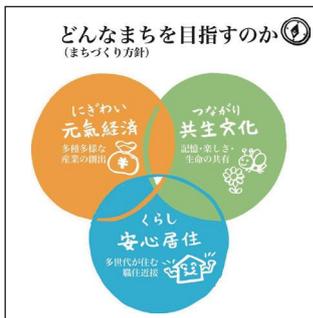
伝馬町通



袋町通



本重町通



錦通

錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト ●このプロジェクトは、名古屋市「低炭素モデル地区認定事業」です。

行きたい！働きたい！
住んでみたい！

何をめざすの？

Vision

なぜ低炭素で魅力的な
まちづくりが重要なのか？

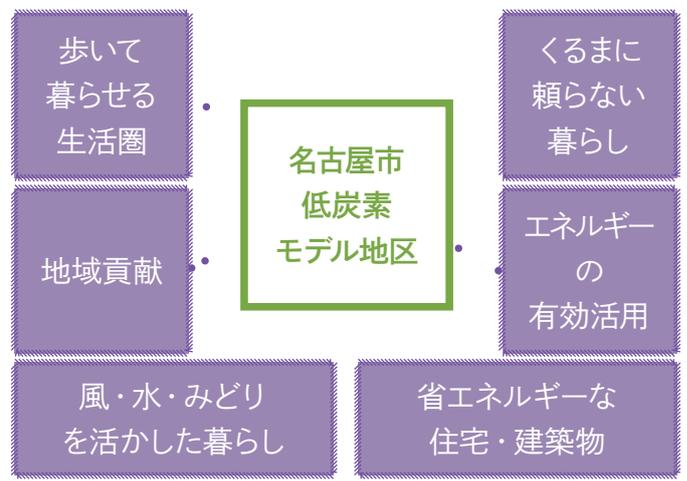


低炭素なまちのイメージ 画：吉村直樹

世界中で異常気象が多発している現在、少しでも将来の気候変動を緩和するための低炭素・循環型社会の実現は、世界全体で重要な課題となっています。将来の望ましい“まち”は、環境負荷が小さいだけでなく、快適で暮らしやすいまちであると私たちは考えます。省エネや再生可能エネルギーなどの導入、木材の活用や緑化などの自然利用、エネルギー消費の少ない暮らしの推進により、自然の持つ力を生かした環境負荷が小さく、暮らしやすいまちづくりを世界中が取り組んでいます。

名古屋市低炭素モデル地区って何？

名古屋市は現在、「低炭素モデル地区」の形成を図っています。「低炭素モデル地区」とは、地域の住民や事業者と協力しながら、自然環境との調和を保ち、わくわくするような低炭素で豊かな暮らしを実現するまちをつくり、多くの方々に実際に示すことで、**全市への低炭素まちづくりの手本となる地区**です。錦二丁目は2015年2月に「低炭素モデル地区」の第1号として選ばれました。今後、低炭素で魅力的なまちとして、様々な取り組みを進めていきます。



「環境に優しい」はからだにもお財布にもお得？

環境に優しい建物やまちは、わたしたちの健康やお財布にもお得であることを知っていますか？
環境に優しくすることとおして、自分たちも健康で豊かになりたいですね。

● 環境に優しい建物・まちと「健康」

「断熱性能」の高い建物内では、室内の温度変化が少なく、かぜやインフルエンザの疾患が少ないなど、住む・働く人の健康に優しいことがわかっています。また、歩きやすく、緑の多いまちでは、肩こりや冷えなどの症状が少ない、孤独感や疲労を過度に感じない人が多い、などの研究結果も出ています。

● 環境に優しい建物の不動産価値

建物の省エネ化は、光熱費を安くするだけでなく、建物の資産価値にも影響します。国土交通省の調査では環境配慮の認証を受けた建物は、ほかの建物より賃料や不動産価格が高い可能性があることが明らかとなりました。また、まち全体が低炭素に取り組むことで、イメージアップによる賃料・地価安定も期待できます。

行きたい! 働きたい!
住んでみたい!

低炭素って何をするの?

Case Study

低炭素まちづくりの
先進国 ~ ポートランド

アメリカのオレゴン州ポートランドは、まちの開発整備やイベント、教育などを組み合わせた、“EcoDistricts” と呼ばれる新しい低炭素まちづくりの先進地です。建物や道路、公園、そして暮らし。様々な場所で環境に優しい取り組みが進められています。

これらの取り組みにより、環境に優しく、快適・安全で心身ともに健康な暮らしが広がっています。また、多様な人々が行く・住む・働く場所として人気を生み、不動産価値の向上やまちの活性化が進んでいます。

1.



大雨時の水の貯留や夏の暑さを抑えるため、積極的に水辺空間を整備しています。水や緑と触れ合える場として、近くに住む子供たちで賑わっています。

2.



歩道は休み、食べ、語らう場所に。自然の風が吹き、照明や空調を使わないエコな場所です。赤いパラソルのテーブルは歩道が狭くならないよう車道に設置。

3.



まちにたくさんある平面駐車場もランチタイムには人が集まる場所に。空いた敷地でフードカート(屋台) 営業を認めることで、通りの賑わいが連続しています。

一人ひとりができる、
低炭素な暮らしかた

低炭素まちづくりには、一人ひとりの暮らし方がとても大切です。ふだん意識してなくてもやっていることもあれば、こんなこともエコ?という暮らしかたも。

健康になりながら、楽しみながら、エコな生活を送ってみませんか?

たくさん歩く、自転車・公共交通をつかう



例えばこんなこと

- なるべく電車をつかう
- 自転車をつかったり徒歩にする
- カーシェアリングを利用する



画: 吉村直樹

みどりを育てる



例えばこんなこと

- 緑のカーテンをつくる
- 屋上で花や緑を育てる
- 壁面緑化にとりくむ



建物を少しだけ省エネにする



例えばこんなこと

- 窓を二重サッシにする
- 照明をLEDに換える
- 省エネ基準達成家電を選ぶ



みんなと過ごす、そとで過ごす



例えばこんなこと

- リビングで家族みんなですごす
- 休日に公園ですごす
- シェアハウスに住む



行きたい!働きたい!
住んでみたい!

このまちに合うの?

Community

このまちが提案する、
新たなライフスタイル

今日は 2030 年の満月の夜です。*1

都心部でありながらコミュニティが存在するまち、自然との共生を目指すまち。無理に公園や開発でまちを変えることだけが唯一の道ではありません。このまちは低炭素モデル地区に認定された 2015 年から新しい歩みを始めました。どんなまちになろうとしているのでしょうか?

まちの中には昔から人々がゆるやかに交流する場があります。会所*2 でいろいろな人が話をしたり、まちの寄り合い所に集まったり、あるいは地元の人がつどう馴染みのお店も。今日もそんな場所でまちの人が集まりにぎわっています。人々の会話に耳を傾けてみましょう。

● 地域住民

僕は長者町で働き、住み続けて 50 年。老後の暮らしが心配でしたが、「高齢者が住みやすい家」ができて、介護が必要になっても大丈夫だと安心してます。木でできた歩道も歩きやすいので、毎朝健康のために散歩しています。

● 派遣社員

わたしは派遣社員なので通勤手当はなく、空いている時間は地域紙の発行をしています。時間と交通費を節約したいので、ここに住んでいますが、地下鉄の駅も近く、カーシェアも利用できるのが本当に便利です。しかもエコカーが多いので、外も静かでうれしいです。こんな事でも低炭素な生活、と言っているのは何だか恥ずかしいですね。

● このまちで働く女性

このまちで働くようになって気づいたんですけど、建物の断熱性がいいので、前に働いていたオフィスよりカゼもひかないし、肩こりも冷えも軽くなったみたい。仕事の休憩中にマルシェに買い物出来たりもするので、安心しておいしい野菜も買えるし、仕事の間に一息つけるのびのび感がいいですね。

* 1) 2006 年、この地区では短歌による「まちづくり憲章」が作られました。その代表歌の「閑所路地 老いも若きも集う庭 打ち水縁台 空に満月」は、このまちにかつて低炭素なライフスタイルがあったことを示唆しているようです。

* 2) 碁盤割の町割りの中でも、名古屋のみの特徴として、街区(碁盤割の一區画)の中央に空地をとり、神社・仏閣・火の見やぐらなどを配置することがあります。徳川家康はこれを「会所」と名付けました。会所には、いざというときに兵士を隠しておく役割もありましたが、むしろ平和なまちづくりを目指し、平時に人々が出会える心地よい居場所としての役割もありました。会所はなまって閑所とも言われます。

●若手起業家

個人事業だからこそ、都心部にオフィスを持つ事で信用になるし、この場所は公共交通機関が利用しやすい。シェアオフィスを利用したら、思ったよりずっと費用が安く、広く気持ちがいい空間で自然の光を感じながら仕事ができています。何より同じような仲間との出会いで仕事の領域が広がりました。

●地権者

子供が継がないので繊維問屋を廃業しました。40坪くらいなので駐車場しかできないと思っていたけど、不安を持つ地権者と協働したおかげで、屋上菜園の野菜を扱うレストランのあるマンションをつくる事ができました。「環境に優しい」など新しい付加価値が付いた事で、まちに住みたい人や働きたい人が増えました。このまち全体がにぎわう事で不動産の運用が安定し、不動産の価値も高まっています。

●店主

うちは古い繊維問屋を改装して営業しているけど、この前内装を木材に変えてからお客さんの受けがすごくいいみたい。事務所で仕事も少し集中力が上がったかな？今までは電気容量がギリギリだったけど、木材のおかげで暖房の効きが良くなりました。太陽光発電とLEDの活用も始めたら、電気代が以前の半以下になりました。

●大学の先生

地球の温暖化や異常気象を防ぐためには、二酸化炭素の排出量を大幅に減らす必要があります。そのような社会を「低炭素社会」と呼びます。「ライフまちづくり」と「低炭素まちづくり」はつながっていますね。

●このまちに住む若者

この前、長者町のシェアハウスに引越して来ました。共用空間が広いので、家賃が安いのにぜいたくになった気分。電気代も安く、wifiが共用なのも助かります。仕事で遅くなっても、誰かがいるので少しホッとしますね。くるまもカーシェアを利用しています。これからの暮らしは、「シェア」がキーワードかもしれませんね。

●記者

お年寄りにも子供にも優しい、環境にもお財布にも優しいみんなのからだと生活が生き生きするのは、まさに「ライフまちづくり」ですね。

一夜が更けていきます。このまちの人々のつぶやきに満月に照らされた窓の外の木の葉1枚1枚が聞き惚れているようです。

行きたい!働きたい!
住んでみたい!

どんな取り組みをすすめるの?

Ambition

取り組みの進め方と
先行プロジェクト

錦二丁目地区では、今後15年かけて「建物」「公共空間」「活動」に対する取り組みを、「ゆっくり着実に」「みんなで協力して」「経済活動と協調しながら」進め、まちの付加価値を高めることを目指します。

現在、4つの取り組みを先行して進めています。各プロジェクトへの参画、その他取り組みの提案も積極的に受け付けていますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください!

ゆっくり着実に

みんなで協力して

経済活動と
協調しながら

付加価値の高い
まちの実現

■ 自然エネルギー活用プロジェクト

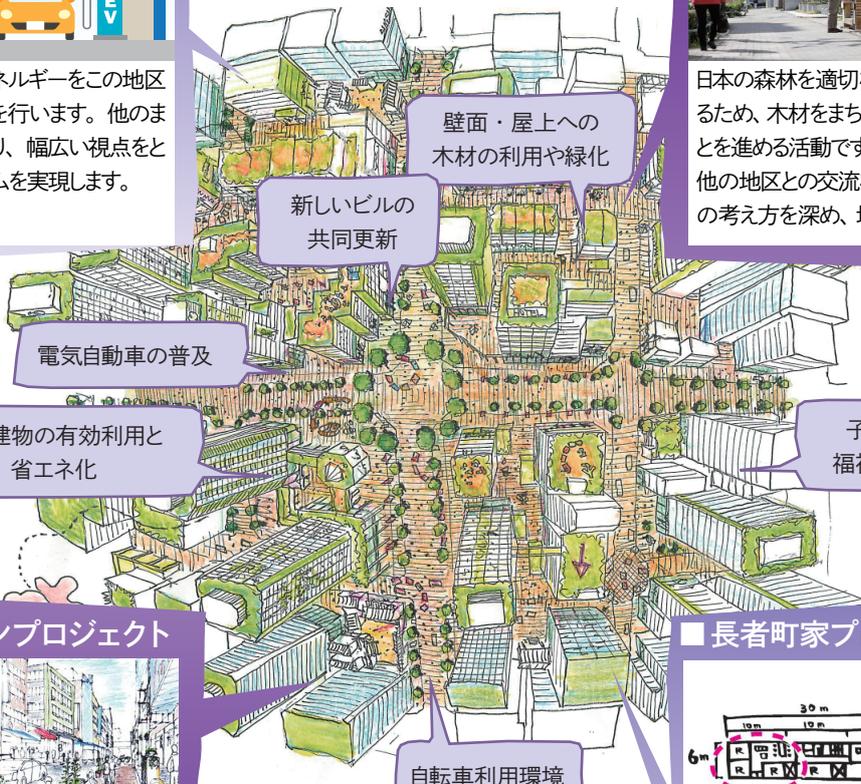


太陽光発電などの自然エネルギーをこの地区で活用するための提案を行います。他のまちづくり活動との連携により、幅広い視点をとりのれたエネルギーシステムを実現します。

■ 都市の木質化プロジェクト



日本の森林を適切な管理へ戻すことを応援するため、木材をまちなかで積極的に利用することを進める活動です。「まちの木工所」活動や他の地区との交流などにより、「都市の木質化」の考え方を深め、地区内外に普及します。



壁面・屋上への
木材の利用や緑化

新しいビル
の共同更新

電気自動車の普及

古い建物の有効利用と
省エネ化

子育て施設や
福祉施設の誘導

自転車利用環境

安全で涼しい
会所路地の復活

■ 公共空間デザインプロジェクト



過ごしやすく低炭素な暮らしに寄り添う公共空間の実現を目指します。地元の方や訪れた方々の意見を聞き、公共空間の再編・活用に取り組みます。また、駐車・駐輪場の活用や自動車共同利用など、低炭素交通の普及を進めます。

■ 長者町家プロジェクト



このプロジェクトでは、様々な方法で都心にシェアハウスを創り出します。都心ならではのシェア居住や職住近接を活かし、まちに住む人を増やすことで、にぎわいや安全の創出、低炭素な暮らしを模索、実現していきます。

行きたい!働きたい!
住んでみたい!

みなさんが主役です!



Player

取り組み体制

このプロジェクトはこのまちに関わるみなさんが主役です。
錦二丁目まちづくり協議会「錦二丁目低炭素地区会議」がプロジェクトの全体調整を行います。錦二丁目内各町内会や名古屋長者町織物協同組合、名古屋市、さらには地域内外の専門家や地域のみなさんが、それぞれの得意なこと・協力できることを持ち寄って進めます。

プロジェクトの実現はみなさんにかかっています!

やりたいこと・協力できることがあれば、ぜひご協力・ご連絡ください!

地区内の地権者・経営者のみなさま



例えばこんな時に声をかけてください!

- 不動産の改修や活用でまちに役立てたい!
- プロジェクトに参加したい!
- 場所を提供したい!



わたしも応援しています!

- 山口兼市社長(八木兵株式会社)
太陽光発電を積極的に導入するなど、このテーマには地域の一人として進んで協力したいと思います。
- 吉田幸司社長(吉田商事株式会社)
私どもの会社は角地であり、1階がガラスで周囲の目を引きやすいので、木質化を多くの人が見えるように協力したり、地域に開かれた会議の場所として利用してもらっています。

地区外から応援いただくみなさま



例えばこんな時に声をかけてください!

- 起業したい!移転したい!
- 行ってみたい!住んでみたい!
- 取り組みを詳しく知りたい!参加したい!



わたしも応援しています!

- 谷口康彦さん(大阪・船場げんきの会)
「賑わい生活都心」としてお互い交流し励ましあいましょう。
- ユ・チャンボクさん(韓国・ソウルまちづくりセンター長)
これからはマウル(まち)が生活世界から、公共性を再び創り変えていきましょう!

錦二丁目まちづくり協議会「錦二丁目低炭素地区会議」

プロジェクト全体を運営するとともに、各プロジェクトや取り組みの調整・協力を行います。

協力組織

錦二丁目内
各町内会

名古屋長者町
織物協同組合

NPO 法人
まちの縁側育くみ隊

名古屋市

地区内で活動に取り組むみなさま



例えばこんな時に声をかけてください!

- コラボレーションしたい!
- 環境に優しい取り組みを取り入れたい!
- 一緒になって面白いことがしたい!



わたしも応援しています!

- 伊藤春花さん(高校1年生)
長者町カルタで対戦できるまちの仲間を増やしたいです!
- 伊藤早苗さん(住まないシェアハウス Place La Bon)
食や趣味を介して集まる人の面白いまちのスキマになれればいいなあと考えています。

地区内外の専門家や企業のみなさま



例えばこんな時に声をかけてください!

- 個人や会社の技術を役立てたい!
- 技術や研究の実証地を探している!
- 新しいプロジェクトを提案したい!



わたしも応援しています!

- 奥宮正哉教授(名古屋大学大学院環境学研究所
名古屋市「低炭素モデル地区」アドバイザー会議委員)
一歩ずつ、ゆっくり楽しい『まちづくり』。
さあ、みんなで一緒に。

行きたい！働きたい！
住んでみたい！

まちの人のつぶやき

Interview

西村商店株式会社
(婦人服卸売)
西村勇吾さん



古くから錦二丁目繊維問屋をやっていますが、ここは地下鉄駅が2つもあるので、繊維問屋以外にとっても立地のメリットがすごく高いと思っています。でも今の長者町は土日の人通りが少ないので、“もったいないなあ”と。いつの時代も変わらない価値を持つ商品を扱う店が集まり、土日でも人通りが多いまちになればうれしいですね。実は将来、この地区の中で生鮮食品の販売をやりたいと思っています。有機農法で栽培された野菜や伝統製法でつくられた調味料などを販売し、また併設したカフェでその食品を使った軽食を提供する、そんな店舗をこの地区で実現したいですし、実現できたらこのまちがどうなるかなあと夢をふくらませています。

マイノリティコレクション名古屋店
(ゴルフアパレル販売)
店長 竹中さち子さん



錦二丁目働くようになって、ちょうど一年です。はじめは人通りが少なく、特に土日は閑散としたまちだと思っていましたが、だんだん矢場町や栄とは違った、落ち着きのあるまちだと感じるようになってきました。あびす祭りやあいちトリエンナーレなど、他とは違う盛り上がりのあるまちで、どこか隠れ家的に感じています。通勤に便利で、しかも休日は静かなので、住むまちとしてもいいところだと思います。ただもう少し、公園や生活施設がないと女性や家族が暮らすのは難しいかもしれませんね。小さな公園や緑・花があり、個性的なお店やアートがあり、地下鉄だけでなく、自転車や徒歩で暮らしやすいまち、そんなまちになればいいな、と思っています。



お得意さんが営業してみえる商店街を訪れるとかつての賑わいにはほど遠く多くの商店街の停滞、衰退は錦二丁目繊維街の疲弊にも繋がっています。このことは錦二丁目産業構造の転換による新しいまちづくりの課題に直面しています。現在世の中には、資源不足などの環境問題の深刻化や経済的な不安が蔓延しています。省エネ、再生可能エネルギーの積極的な導入が叫ばれてる今日、心身や経済も安心の「生きやすい場所」が求められています。その際地域の人、物、金、情報に自然の恵みをいかした資源を循環させ住む人、経済活動をする人、遊びに来る人の思いを共有することで地域の新しいエネルギーに変えることに取り組んでいきたい。私たちは時代をこえても変わらない「生きやすい場所」をつくりたい。だから皆さんの知恵や希望を錦二丁目語って下さい。まちに関わる全てがより良いまちにするため何ができるか考え声をかけていただければ皆が助け合い輝くまちができると信じています。

●錦二丁目低炭素地区会議統括 田中亨さん

地域内外の皆さんへのご協力やご参加のお願い

まち全体を魅力あるものにしていくためには、個々の建物や土地ごとの取り組みが重要です。
また、いろんな取り組みを進めるためには、人材や資金も重要です。
もしご協力いただけることがあれば下記までご連絡ください。

- 錦二丁目地区内の事業者・住民のみなさま
各町内会長までお問い合わせください。
- 地区外の事業者や専門家、その他のみなさま
以下までご連絡をお願いいたします。

Fax. 052-201-9878 Mail. life@kin2machi.com

お問い合わせください！

編集 錦二丁目まちづくり協議会／錦二丁目低炭素地区会議・広報ワーキング
 発行 錦二丁目まちづくり協議会／錦二丁目低炭素地区会議 名古屋市環境局
 企画・ディレクション 延藤安弘 (NPO 法人まちの縁側育くみ隊)・堀田勝彦 (錦二丁目まちづくり協議会)・森田紘圭 (大日本コンサルタント株式会社)
 制作 原愛樹

発行日 2015年9月1日